

WHO ファクトシート

結核

Tuberculosis

2017年3月

重要な事実

- ・結核(TB)は、世界の死亡原因トップ10の一つである。
- ・2015年には、1040万人が結核に罹患し、180万人(HIV感染者40万人を含む)が結核で死亡している。結核による死亡の95%は、低・中所得国で起きている。
- ・最多のインドに続くインドネシア、中国、ナイジェリア、パキスタン及び南アフリカの6カ国で全体の60%を占めている。
- ・2015年には、推計100万人の子どもたちが結核に罹り、17万人の子どもたち(HIV感染の子どもたちを除く)が結核で死亡している。
- ・HIV陽性の人々にとって結核は最大の死亡原因である。2015年には、HIVによる死亡者数の35%は結核で死亡している。
- ・世界的に2015年には、推計48万人の人々が多剤耐性結核(MDR-TB)に罹っている。
- ・結核罹患率は、2000年以来、年平均1.5%減少している。「結核終息戦略」の2020年目標値に達するためには年間減少を4~5%に加速する必要がある。
- ・2000年から2015年の間に、結核の診断と治療により、推計4900万人の命が救われた。
- ・2030年までに結核の流行を終息させることが新しく採択された持続可能な開発目標SDGの健康目標のひとつである。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Tuberculosis

ファクトシート原文は [こちら](#)